



令和2年6月6日

学びの広場

京都市教育委員会 教員養成支援室



京都教師塾通信 No. 12 (最終号)

第14期
「京都教師塾」

祝

卒塾おめでとうございます！

中永 健史 塾長からのメッセージ

第14期「京都教師塾」のご参加ありがとうございました。皆さんの熱心な学ぶ姿に教育の未来への希望と頼もしさを感じました。

約6か月間の受講を通して、教師を目指すにあたって抱いていた不安や心配の多くは解消されたことと思います。特に、今教師に求められている実践的指導力の基礎・土台は、着実に身につけています。自信を持ってください。

今は塾の余韻に浸ってはいけません。多くの方が挑まれる教員採用試験に向けて、改めて自らを振り返り整える時期です。最後の教育学講座でも伝えましたが、採用試験では、「これまでの努力の到達点」を示し、それを通過点と捉え「伸びしろ」として「学び続ける力・姿勢・意気込み」を表すことが大切です。また、最後まで諦めないこと。講義、塾生間の話合いやグループアドバイザーの助言、スタッフの赤ペン添削、学校実地研修・フィールドワークで感じたこと等を思い起こし、どうか一言・一行付け加えてください。

卒塾生の皆さんの、今後のご活躍を願っています。

「学びの広場」は、皆さんの学びを支え、深めるためのツールです。
これまで発行してきた「学びの広場」をこの最終号に綴じ、学びの足跡としてください。



卒塾の言葉



本日、私たち京都教師塾第14期生は、卒塾の日を迎えました。教員を志す仲間たちとともに学んだ9か月間は、全ての塾生にとってかけがえのない財産となりました。全体会、分散会、フィールドワークや実地研修、一つ一つの活動で、学んだこと、感じたことがありました。

中でも分散会では、それぞれの考え方が違う塾生同士が、熱く意見を共有し合いました。議論の中には、「目指すべき教師像」を考える場面が特に多くありました。自分が教員を志したきっかけを振り返り、改めて目指す教師像を見つめ直すことで、自らの教育哲学を深く考えることができました。あの場面にこそ、教育をより良いものに高めようとする理想の教師の姿があったのだと強く感じました。

ここで学び、感じ、考えたことを、教師として児童生徒に還元したいと思います。京都教師塾で講演をしてくださった先生方や丁寧にご指導くださったグループアドバイザーの先生方、スタッフの皆様、共に学び合った塾生へ、敬意と感謝を込めて、卒塾のことばと致します。

京都教師塾 14 期生 卒塾生代表 公手智生



レポート担当兼相談スタッフからのメッセージ



中村 隆 専門主事

塾生の皆さん、卒塾おめでとうございます。今、世の中では「ソーシャルディスタンス」という言い方がされています。それが大切だということが分かっていても、目の不自由な人にそれをどのように伝えられるのでしょうか。そしてそのことを少しでも気にする自分がいるのでしょうか。教師を目指されるのであれば、その想像力を失わずにいてください。教師塾は通過点にすぎません。教師は色褪せてはならないと思います。これからも自分磨きを続けてください。応援しています。

斉木 光子 専門主事

塾生の皆さまへ。それぞれが学校へ通いながら職場で勤務されながらも、教師塾での学びをやり遂げられました。「教師になりたい」と自分の意志で入塾されました。『意志あるところに道は開ける』それぞれの本気度が夢の実現です。でも、迷っているなら『やらずに後悔するよりも、やって後悔する』。自分がどうするかです。心も身体も強く逞しく柔らかく、出会いとチャレンジで前進です。一度きりの人生です。卒塾おめでとうございます。

大村 隆之 主任指導主事

今年は休講など色々な困難もありましたが、みなさんよく頑張ってくれましたね。講座の後、みなさん各々が、自分なりの考えやアイデアを、レポートのページ一杯に表現されているのを毎回嬉しく読ませていただきました。そして、将来の教育の世界を担っていこうとするみなさんの意気込みに頼もしささえ感じています。アドバイスの中には、経験してみないとわからないような内容もあるかもしれませんが、いつの日か教育現場で疑問などを感じたときは、読み返してみてください。みなさんの夢の実現とご多幸を心から願っています。

岸田 蘭子 専門主事

卒塾おめでとうございます。今年の4月に着任しましたので直接皆さんとは顔を合わせることはできませんでしたが、この教師塾で学べたことはきっと今後も役に立つことばかりだったと思います。ここで学んだ仲間とのつながりも大切にしてください。教育は志と心がけ、心配りが大切です。教師をめざすあなた方を教師塾は応援し続けています。ここでの出会いがきっと未来をひらくにちがいありません。がんばってください。

この5か月間、志を同じくする人たちと様々なテーマで意見交換をする時間がありました。学んだことを自分の言葉で表現することは、考えをまとめるのにとっても役に立ちます。まずは目の前の、今自分がやらなければならないことにしっかりと取り組みましょう。そのうえで、自分の夢の実現に向けて何をしていくのかをよく考えて、行動に移しましょう。子どもたちと同じ土俵で頑張り続ける「若さ」とは何か、問い続けられる人になってほしいです。子どもたちのあこがれの先生を目指して全力で勉強をしましょう。そして、自分の夢の第一歩が踏み出せるようにがんばってください。

講座の初回から塾生の熱意や熱心さが感じられ、感銘を受けておりました。それが最終まで持続できたことは、塾生同士もそれを感じながら互いに触発し合えたからでしょう。教職に就くということは、子どもたちに未来を生きる力を身に付けることであり、未来を創る営みに携わるということです。だからこそ、教師の責任は重大で、困難にも直面することがありますが、教師は皆、誇りとかけがえのないやりがいを感じて仕事をしています。これから教師を目指す皆さんは、今の熱意や熱心さをいつまでも失わずに、それを原動力として頑張ってください。応援しています。

あふれる情熱を胸に若き教育者として、少しずつ歩み始めてゆく皆さんを応援しています。目標を定めて一点突破！成りたい自分になるために努力を惜しまず頑張ってください。また、誠意は必ず伝わります、感謝の気持ちも常に持ち精進してってください。

グループアドバイザーの先生方から 塾生のみなさんへ

卒塾、おめでとうございます。これからも、「教師」への夢を追いつけ、教師になった後は、子どもたちに寄り添い、子どもたちを愛し、子どもたちの成長を共に喜べる教師であり続けてください。自分の力を信じて、がんばってください！応援しています。

仲間とともに学んだ教師塾での貴重な学習をこれからの実践につなげていけるよう、子どもたち一人ひとりを大切にする気持ち、様々なことへの感謝の気持ち・謙虚さを忘れることなく、授業力をあげて頑張ってください。純粋な子どもたちとともに授業ができることは、とても尊いことです。それには教師の人間性・学級経営が大きく影響してきます。子どもたちは、とてもよく見ています。感じています。わかる・楽しい授業をめざして、心から子どもたちのことを考えられる先生になってください。応援しています。

卒塾、おめでとうございます。教師塾の話が現場ですることはほとんどありません。しかしよくよく聞いてみると、京都教師塾出身の同僚は結構います。そしてその多くは活躍しています。

皆さんは、ようやく教師という道の入口に来たところですよ。その扉を開けるのは皆さん自身です。教師とは決して楽ではなく、責任の重い仕事です。しかしやりがいのある仕事です。本塾での貴重な学びにこれからの学びを加えて、常に謙虚さと探求心をもち、子どもたちの心に残る先生になりましょう。健闘を祈ります。

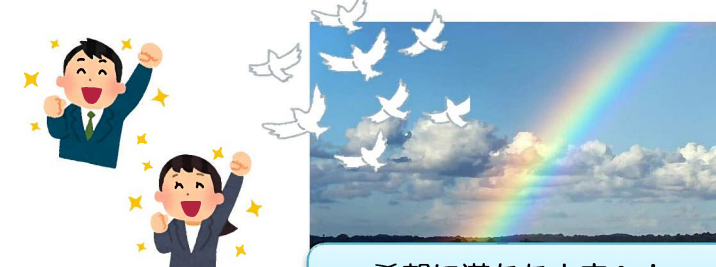
御卒塾おめでとうございます。子どもたちは、自分らしさを認めてくれる先生を探しています。自分の良さを引き出してくれる先生との出会いを待ち望んでいます。自分の力を発揮したいと思ってうずうずしています。どうぞ、そのような子どもたちを支え導く先生になってください。子どもたちと共に学び挑戦する先生になってください。この教師塾を通して、みなさんの思いや考え、情熱に触れ、その素晴らしい可能性に大いに期待を寄せています。未来は明るい！子どもたちのこと、どうぞよろしくお願ひします。

教師になるための最後のハードルは「教員採用試験」です。やるべきことをしっかりやって準備してください。教員として教壇に立たれることを祈っています。

おめでとう！



225名の仲間と出会い、教師塾での学びが始まりました。



希望に満ちた大空へ！
YOU CAN FLY！

